

Scratch3.0拡張機能

# ナンバーバンク1.1 (NumberBank)

Scratch3.0からクラウドに数字を保存できる「クラウド連想配列」拡張機能



数字を保存して みんなと共有できる！  
いろんな拡張機能と組み合わせれば可能性無限大！

- ①違うパソコンからも数字を読み書きできるよ！
- ②クラウドは数字をずっとおぼえてくれるから日にちがたっても使えるよ！
- ③双方向性のあるコンテンツのプログラムもつくれちゃいます！

ナンバーバンクのブロックは全部で7つ。

準備のブロック1つと保存に使うブロックが1つ。あとは読む関係のブロックが5つあります。

まずは、最初の1回だけマスターキーをセットする必要があります。



数字を保存するには2つの保存キーを決めて



ブロックで保存します。

数字を読むためには、



ブロックで読んだ数字を変数に保存するか、

ブロックを使って (クラウド数字) に読み込まれた数字を使います。

また を使うと直接的にクラウドの数字を使うことができます。

真偽値は保存キーが使われているかどうかを調べることができます。

マスターキーも保存キーも重要な情報だから自分のものとして大事に扱ってくださいね。

## 【使える環境】

Xcratch環境用モジュール

<https://con3office.github.io/cx-numberbank/dist/numberbank.mjs>

champierre Stretch3環境

<https://stretch3.github.io/>

## 【必要なもの】

- ・Webブラウザ

<https://con3.com/numberbank/>

## 【対応機種】

- ☐ Windows11
- ☐ iOS
- ☐ macOS
- ☐ ChromeOS
- ☐ Android
- ☐ Linux



## 【留意事項】

- ・1.0以降は、異なるマスターキーだと保存先クラウドが異なります。保存キーが同じであってもマスターキーが異なれば異なる読み書きとなります。
- ・ナンバーバンクの保存先クラウドを自前で用意し、独自のマスターキーを作成することが出来ます。専用WebサイトMasterkeyBankに登録します。
- ・2023年12月時点の仕様で、クラウドに保存される情報は、数字/ハッシュ化保存キー/ハッシュ化マスターキー/タイムスタンプです。